

アスパラガ斯特報

この時期の病害虫防除の徹底で来春の収量が決まる！

アスパラガスにとって9月、10月は養分の蓄積期となり、とても重要な時期になります。
今年は茎枯病の発生が多いため、今後予想される台風等の風雨による感染拡大を防ぎましょう。
来春の収量確保のためにも感染源となる被害茎を除去し、合わせて病害防除の徹底を図りましょう。
また、9月以降は養分転流の促進効果が期待できる、亜リン酸肥料の「PKゴー」や「メリット赤」を散布薬剤に混用し次年度の収量増加につなげましょう。

1. 薬剤散布：ハウス、露地栽培共通（高温時の散布は薬害に注意） ★ PKゴーを薬剤と同じ容器に少量の水で溶かすと凝固する恐れがあります。

散布時期	薬 剤	濃度 (倍)	10a当 散布量	薬剤調合	対象病害虫
9月 上中旬	(PK ゴー) ダコニール 1000 劇 コテツフロアブル	3000 1000 2000	300 リットル	水 100 リットル 展着剤 (ハイパワ-) 20ml (PK ゴー) 33ml ダコニール 1000 100 ml コテツフロアブル 50 ml	茎枯病・斑点病、褐斑病 ハダニ類、オオタバコガ ヨトウムシ、ハスモンヨトウ (アザミウマ類)
9月 中下旬	露地作型【春どりのみ】 (PK ゴー) プレオフロアブル ジマンダイセン水和剤	3000 1000 500	300 リットル	水 100 リットル 展着剤 (ハイパワ-) 20 ml (PK ゴー) 33ml プレオフロアブル 100ml ジマンダイセン水和剤 200g	茎枯病・斑点病、褐斑病 オオタバコガ、ハスモンヨトウ ネギアザミウマ
	露地作型【夏秋どり】 及び ハウス作型【共通】 (PK ゴー) プレオフロアブル ベンレート水和剤	3000 1000 2000	300 リットル	水 100 リットル 展着剤 (ハイパワ-) 20 ml (PK ゴー) 33ml プレオフロアブル 100ml ベンレート水和剤 50g	茎枯病・株腐病 オオタバコガ、ハスモンヨトウ ネギアザミウマ
10月 上中旬	(PK ゴー) アピオンE(展着剤) ベルコート水和剤	3000 1000 1000	300 リットル	水 100 リットル アピオンE(展着剤) 100ml (PK ゴー) 33ml ベルコート水和剤 100g	茎枯病、斑点病、褐斑病

- (1) 樹勢が低下し淡い緑色になっている園地は、9月上中旬の薬剤散布のPKゴーに代えてアミノメリット特青 500～600 倍を加用して葉面散布する。(展着剤不要)
- (2) 茎枯れ病の発生が多い場合は、発病している茎を切り取り感染が拡大しないようにする。(被害茎は園外へ)
- (3) 9月以降の薬剤散布とあわせて、亜リン酸肥料の「P・K ゴー」3,000 倍液を加用して葉面散布する。
在庫でメリット赤がある場合、「PK ゴー」に代えて、メリット赤 300 倍を加用して葉面散布してもよい。
(メリット赤を使用する際は展着剤不要。)
- (4) 農家在庫で「i c ボルドー66D」がある場合は、最終防除の「ベルコート水和剤」に代えて、IC ボルドー50 倍液で使用してもよい。但し、PK ゴーとは混用しない(ボルドー液との混用不可)。メリット赤との混用はできます。
- (5) 10月に入っても、オオタバコガの発生が多い場合は、「ベルコート水和剤」に「ディアナ SC5000 倍液」を加用する。
- (6) 最終の薬剤散布は、薬剤の持続性を高めるため、展着剤アピオンEを添加する。

オオタバコガ発生状況

場所によりオオタバコガの被害が発生しているところがあります。
今後も高温傾向となることから9月中下旬～10月上旬に最後の発生ピークが予想されます。
9月の防除は散布間隔を空けすぎないようにしてください。

裏面もご覧ください

2. 必要茎葉量の確保と茎葉整理

茎枯病などの被害茎葉は、ほ場外への持ち出し処理をしてください。

立茎数の制限（必要茎数のめやす）

【1株当たりの目標立茎本数の目安】

	夏秋収穫する園地	夏秋収穫しない園地
立茎数	4～5本	6本程度

＊草丈 150cm以上で、太さL 級程度の茎とする。
（1～1.4cm 程度）

【1m 当たり立茎本数の目安】

	夏秋収穫する園地	夏秋収穫しない園地
立茎数	15～18 本 （長期どり 12～15 本）	20 本程度

3. 排水対策

今後、秋雨により圃場内に水がたまる場合は、必ず排水溝を設けて停滞水の排水に努めましょう。

＊JAでは溝堀機の貸出し（半日当たり 1,100 円・1 日当たり 2,200 円(土日祝日の貸し出しはできません)）をしています。希望される方は営農センターまでご連絡下さい。

4. 堆肥の施用

春収穫打ち切り時に堆肥を施用していない場合は、茎葉刈り取り後に施用してください。
（目安コーンコブ入り牛堆肥等 4t/10a 当り）

5. その他

- ・9 月以降の追肥はしないでください。

斑点病について

葉先が枯れ込んできている場合は斑点病の恐れ

主に擬葉や枝に発生するが、茎にも発生する。
初め紫褐色の小斑点が現れ、のちに拡大して、
楕円～紡錘形の病斑となる。
病斑は外側が紫褐色、内側が淡褐色～灰褐色となる。
ひどくなると細い枝から枯れ込んでくる。

擬葉の先端が枯れ込んでいる場合は、近くからよく観察し、斑点が確認できたら斑点病の可能性が高いです。

斑点病の発生を確認したら
効果的薬剤（下表）から選択して、散布する。



斑点病に効果的な薬剤

農薬名	希釈倍率	注意点
ベルコート水和剤	1,000 倍	収穫中の圃場は使用を避ける （収穫前規制が7日のため）
ラリー水和剤	4,000 倍	総使用回数に注意（2 回以内）